

# 死亡届の記入例

## 死亡届

平成 年 月 日届出

神奈川県海老名市長 殿

受理 平成 年 月 日	発送 平成 年 月 日					
第 号	第 号					
送付 平成 年 月 日	長印					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通知

届出する年月日を記入してください。

死亡時刻は、昼の12時は午後0時、夜の12時は午前0時と記入してください。

配偶者の有無を記入する(いる場合は年齢を記入)

(1)	(よみかた)	かつせ じろう
(2)	氏 名	勝 瀬 次 郎 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(3)	生 年 月 日	昭和30年 2月 2日 (生まれたから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) <input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input type="checkbox"/> 午後 時 分
(4)	死亡したとき	平成19年 10月 1日 <input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 3時 00分
(5)	死亡したところ	神奈川県海老名市河原口2200番地 号
(6)	住 所 (住民登録をして いるところ)	神奈川県海老名市勝瀬175番地の1号 (よみかた) かつせ じろう 世帯主の氏名 勝 瀬 次 郎
(7)	本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	神奈川県海老名市勝瀬175番地 1 筆頭者の氏名 勝 瀬 次 郎
(8)	死亡した人の夫 または妻	<input checked="" type="checkbox"/> いる (満 48 歳) <input type="checkbox"/> いない ( <input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)
(9)	死亡したときの 世帯のおもな 仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁を除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input checked="" type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯
(10)	死亡した人の 職 業・産 業	(勤務先を平成 年 月 日 から平成 年 月 日 までに死亡したときだけ書いてください) 職業 産業
(11)	その 他	
届 出 人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 同居の親族 <input type="checkbox"/> 2. 同居していない親族 <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 家主 <input type="checkbox"/> 5. 地主 <input type="checkbox"/> 6. 家屋管理人 <input type="checkbox"/> 7. 土地管理人 <input type="checkbox"/> 8. 公設所の長	
	住所	神奈川県海老名市勝瀬175番地の1号
	本籍	神奈川県海老名市勝瀬175番地 1 筆頭者の氏名 勝 瀬 次 郎
	署名	勝 瀬 恵 子 (印) 昭和34年 5月 5日生
	事件簿番号	
	連絡先	電話 ( ) 自宅・勤務先 [ ]・携帯

記入の注意  
鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく指定統計第5号、厚生労働省所管)にも用いられます。

◎届出人の印をご持参ください。

## 死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

氏 名	1男 2女	生年月日	明治 昭和 大正 平成 年 月 日
死亡したとき	平成 年 月 日	午前・午後	時 分
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別 1 病院 2 診療所 3 介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他	死亡したところの番地 番 号	
死亡の原因	(ア) 直接死因 (イ) (ア)の原因 (ウ) (イ)の原因 (エ) (ウ)の原因	発病(発症) 又は受傷から 死亡までの 期間 ●年、月、日等の単位で書いてください。 ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください。 (例:平成30年、5月10日)	
手術	1 無 2 有	部位及び主要術見	手術年月日 平成 年 月 日
解剖	1 無 2 有	主要所見	
死因の種類	1 病死及び自然死 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火傷による傷害 6 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の死	1 病死及び自然死 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火傷による傷害 6 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の死	
外因死の追加事項	傷害が発生したとき 平成 昭和 年 月 日 午前・午後 時 分	傷害が発生したところ 1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他 ( )	都道府県 市 区 町 村
生後1年未満で 死亡した場合の 追加事項	出生時体重 グラム 単胎・多胎の別 1 単胎 2 多胎 ( 子中第 子 )	妊娠週数 漢 週	
その他特に行ふべきことがら	妊娠・分娩時における母体の病歴又は異状 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日	前回までの妊娠の結果 出生児 人 死産児 胎 (妊娠22週以後に限る)	
上記のとおり診断(検案)する	診断(検案)年月日 平成 年 月 日	本診断書(検案書)発行年月日 平成 年 月 日	
(病院、診療所若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所)	(氏名)	医師	印

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、養老老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

傷病名等は、日本語で書いてください。  
1欄では、各傷病について発病の型(急性)、病因(例:感染症)、部位(例:胃門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠中死」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠中死(分娩中)」と書いてください。

産後42日未満の死亡の場合は「産後42日未満死」と書いてください。

1欄及び2欄に記した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝言等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2 交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。  
「5 煙、火災及び火傷による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1 住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどのような状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。  
母子健康手帳等を参考に書いてください。